

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 Tajima TAPOS(R)キカワの家

グループの名称 『長く住みよい』家づくりの会

直近採択グループ番号 06-0696-0582

(グループ代表者)

代表者名 岡本 一仁 代表者印
代表者所属先 高柴林業株式会社
代表者所在地 兵庫県豊岡市但東町水石300番地
代表者電話番号 0796-54-1010

(グループ事務局)

事務局事業者名 高柴林業株式会社
事務局担当者名 勝地 俊文 印
事務局郵便番号 668-0304
事務局所在地 兵庫県豊岡市但東町水石300番地
事務局電話番号 0796-54-1010
事務局FAX 0796-54-1011
事務局担当者E-mail trk@zeus.eonet.ne.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		46	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	46	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		4	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		1	棟			
					100	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		1	棟			
					100	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	随時、決定物件順に配分していく。ただし、未経験工務店に物件がある場合、優先する。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	10	戸	交付申請戸数	10	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	10	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) Tajima TAPOS(R)キカワの家	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県・京都府周辺地域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 『長く住みよい』家づくりの会	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0696-0582	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・安心できる住宅として原則、長期優良住宅については、耐震等級3とする。(施主希望のプランによるものを除く)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・高強度梁仕口Tajima TAPOS(R)のプレカット材を標準仕様とする。(施主様事情の例外を除く) ・地盤調査を義務付けるとともに、調査結果に基づいた適切な基礎形成の選択を行います。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・兵庫北部(但馬)や京都府北部ならではの夏の暑さや冬の積雪など、地域の気候事情に配慮した住宅デザインを目指す。 ・リビングなどの共有スペース部分に木材(化粧)を使用することを推奨し、居心地の良い空間を造りを目指す。	◎
④①～③の背景	兵庫県南部は、阪神・淡路大震災を経験した地域であること、兵庫県北部や京都府北部は多雪地域を含むことから、耐震性や耐荷重性に優れた住宅を提案していく。地域材の消費拡大の為に、兵庫県産材・京都府産材及び合法木材を積極的に活用しながら、地域に住まい、地域の気候・風土をよく知るメンバーにより、『長く住みよい』家づくりを目指す。 そこで、家族が集い触れ合い、居心地のよい空間としてリビングに「梁の現し」「廻縁・幅木」「腰壁」「無垢のフローリング」を取り入れ、外壁の「焼杉」などを使用した木のぬくもりのある家を提案していく。 また、柔らかい杉の密度やめり込み強度に関する弱点を克服し、梁桁などの主要構造材にも杉などの地域材を積極的に活用するために、梁・梁仕口のプレカット形状を従来のU字形状からテーパ形状へと改良し、従来仕口の約3倍の強度を実現した「高強度梁仕口Tajima TAPOS(R)(但馬タイプ)」(兵庫県森林林業技術センター開発、特開2014-066129号、登録商標第5742816号)を標準仕様とする。(施主様事情の例外を除く)	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・住宅購入前の資金計画やプラン相談から引渡しまで信頼される家づくりを心掛ける。 ・引渡し後の維持管理や点検・メンテナンスについても長く住みよく、安心できるように努める。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・意匠以外の使用材料(構造材・羽柄材)は寸法を絞り込み規格化に務める。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・建材については、品目ごとにメーカーからの仕入ルートについての統一を図る。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・高強度梁仕口Tajima TAPOS(R)での用材加工や金物(構造躯体)と断熱材とサッシについての標準仕様をモデルとすることで、工務店の長期優良住宅、省エネ住宅を施主への提案ツールとする。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・グループ内での情報の共有を密にし、生産・物流の効率化を徹底する。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・資材調達をできる限りの一本化し、書類の簡素化を図る。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・プレカット、製材業者で年一回検討会を実施する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・グループ内での意見を集約し、情報の発信を行う。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・長期優良住宅の基準は、長期優良住宅マニュアルを施工関係者に配布し徹底する。 ・省エネ技術講習での施工テキストを活用し施工基準の整備を行う。 ・現場担当者についても施工基準の熟知させるための勉強会の実施に努める。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・各工程において自主検査の徹底するとともに、検査結果については施主様への報告を義務付ける。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・プラン、見積り、施工工程等を明瞭にし丁寧な説明等に努める。 ・見積もりと合わせて資金相談についての提案を努める。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・グループの課題や問題点を定期的に確認し、早期解決に向けた打合せ等を実施する。 ・高強度梁仕口Tajima TAPOS(R)の普及に向け、グループとして取り組みを行い、工務店の導入促進を目指す。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・各施工業者ごとに業務の改善に努めることで、勤務時間の短縮に努め、週休2日を目指すものとします。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・資格制度や施工経験などによる給与制度の導入等を検討します。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・原則、保険の加入を呼び掛けに努めます。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・朝礼時に各職長による健康状態のチェックや定期的に清掃・点検・見回り等励行する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・資金相談、ローン取次(フラット35、兵庫県の木造住宅ローン)などの提案を行うことで施主への資金面サービスと信頼の向上に努める。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) Tajima TAPOS(R)キカワの家	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県・京都府周辺地域		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 『長く住みよい』家づくりの会	(結成年) 2015 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0696-0582			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】				
a	① 住宅蓄積履歴情報の	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・維持管理計画に基づき必要図書等の蓄積をおこなう。 ・蓄積はデータによるものとし、履歴情報の共有管理により蓄積と診断の利用促進に努める。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・管理の方法として第三者機関を活用することとし、提携先を選定することで利用促進に努める。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施主と工務店が管理システムを利用し履歴管理の蓄積を確認する。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ共通の点検シートを活用することで、30年にわたる住宅の点検を行う。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・点検シートによる点検を行い、住宅の維持保全に努めるとともに、維持管理シートを活用し、メンテナンスやリフォームの適切な提案に努める。(経年劣化の防止、大規模改修による資産管理の維持向上)	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・第三者機関の点検通知や点検代行サービス等を活用し、維持保全計画による点検、補修をおこなう。(1年、3年、5年、10年、15年、20年、25年、30年)	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住まい手にパンフレットや取扱説明書により説明や勉強会をおこなうことで、住まいの管理の重要性についての啓蒙に努める。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・展示会や完成見学会などを活用し体験会などの実施に努める。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・展示会や完成見学会などに相談所を設け実施する。	○
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が中心となり維持管理委員を設置し、維持管理基準や診断方法、点検等についての定期的な検討会を開催する。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・工務店による定期点検により瑕疵の早期発見に努め、適宜、補修等の維持メンテナンスを行う。	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・将来的な工務店の廃業、倒産に対して、グループ工務店と事務局が連携し履歴管理の継承や維持管理の保全をはかり、住まい手への安心と信頼向上に努める。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・瑕疵保険の事故事例や公務店の体験実例をもとに、瑕疵、リフォームガイドライン等についてのグループ内での勉強会を実施する。	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		・瑕疵担保保険(10年)の加入の義務化とし、11年目以降は、5年毎の瑕疵担保保険延長を推進する。		○
エ. グループの技術力の向上				
【平成30年度対応方針】				
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ提携のサポートセンター等による未経験工務店向けの認定住宅の技術基準についての勉強会を実施する。(6ヶ月に一回程度事務局主催により開催予定)	○	
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・各工程ごとに第3者機関及び住宅省エネ講習受講者による検査(確認申請等)を行う。	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・第3者機関及び住宅省エネ講習受講者による、各工程ごとに検査を行う。	○	
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ特徴である長く安心できる家をアピールすることでグループ全体での受注拡大と地域材の利用促進を図る。	◎	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・平成28年度の省エネ基準や義務化に対応すべく、まずは、BELS取得による省エネ性能の表示の標準化を目指すものとする。また、今後スマートハウスや補助金活用などの新制度に対するため国や県の講習会等に積極的に参加し、最新の技術や情報の取得を目指す。	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が流通業者、メーカーなどと、商品のリスト化による流通の合理化や工務店による対応を促進する。	◎	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 14 今年度の参加目標人数 35	○	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 14 今年度の参加目標人数 35	○	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工務店の施工関連業者へ講習会への参加を案内する。	◎	
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・構造の安定をはかるため高強度梁仕口Tajima TAPOS(R)の普及を目指しておりプレカットによる加工範囲の拡大を図っている。	◎	
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループのプレカット事業者が兵庫県森林林業技術センターと共同研究契約を締結しており、今後もTajima TAPOS(R)の改良実験等による新たな技術開発を共同で実施する予定である。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		・事務局工務店を中心に住宅関連の新制度に対する国や県の講習会等に積極的に参加し、最新の技術や情報の取得を目指す。 ※上記項目は、長期優良住宅(長寿命型)では必ず取組み、低炭素住宅(高度省エネ型)では、積極的な取組みに努める。		◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) Tajima TAPOS(R)キカワの家	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県・京都府周辺地域													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 『長く住みよい』家づくりの会	(結成年) 2015 年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0696-0582														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	・地域材として地元の兵庫産、京都産および、その他の国内、国外の地域を指定しており、兵庫県産木材証明制度、京都府産木材認証制度、国内と海外の合法木材証明制度のいずれかを使用する。 ・地域材の利用割合として、主要構造材(土台・柱・梁・桁)の60%以上への使用を必須とする。	◎												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している		柱: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
	柱: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>『長く住みよい』家づくりの会 体制フロー</p> <p>兵庫県産材認証制度 京都府産材認証制度 合法木材証明制度</p> <p>地域材供給業者 木材供給業者 製材・集成材・合板事業者 プレカット事業者 流通業者 施工事業者</p> <p>長期優良住宅、低炭素住宅の技術的サポート</p> <p>兵庫県立農林水産技術総合センター</p> <p>杉、桧の強度向上により、現しなどに利用可能に! 兵庫県の技術協力により、プレカット業者が加工施工事業者への勉強会等により普及促進</p>													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・プレカット事業者が中心となり製材業者の在庫状況の情報を定期的に集約し把握する。	◎												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・プレカット事業者が中心となり価格の情報を集約し把握することで一元化に努める。また、集約された情報をグループ構成員に提供し、共有化に努めます。	◎												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・本年度【長寿型】【高度省エネ】合わせて25棟 180㎡を見込んでいる。	◎												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算)30枚 ・施主の趣向により積極的な提案活用に努める。	○												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 100坪 ・施主の趣向により積極的な提案活用に努める。	○												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・施主の趣向により積極的な提案活用に努める。	○												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算)10枚 ・施主の趣向により積極的な提案活用に努める。	○												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・柳ごうりや北山杉などの活用または、提案に努める。	○												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・塗り壁などの提案に努める	○												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・但馬・京都によく見かける杉の焼板などの提案を行う。	○												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・家族が集う大広間のある空間の提案を行う。	◎												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・地域の景観や風致などの建築上の法令や条例に従うものとする。	◎												
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・無垢のフローリングや木目調の物など、木のぬくもりを感じる空間の提案を行う	○												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	グループによる本事業のPRによる認知度向上に努めている。そこで、地域型住宅『Tajima TAPOS(R)キカワの家』の普及を目指すとともに、兵庫、京都の地域産材の利用割合を増やす努力をしており、地域振興の貢献に努める。	◎												
カ. その他															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
東日本大震災の復興に資する取組	被災地からの材料、資材の購入	○													
平成28年熊本地震の復興に資する取組	被災地からの材料、資材の購入	○													

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) Tajima TAPOS(R)キカワの家	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県・京都府周辺地域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 『長く住みよい』家づくりの会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0696-0582	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

高度省エネ型・優良建築物型

2020年の省エネ義務化とゼロエネルギー住宅の普及、BELS制度による省エネ性能の見える化など国の施策に対応するべく、高度省エネ住宅への取組みを積極的に行います。

なお、省エネ基準の外皮計算や一次エネルギー消費量計算へ積極的に取組むべく、提携のサポート機関を利用して申請もおこなうことで省エネ基準に対応できていない工務店の底上げを行います。

※ (共通ルールの除外事項について)

住宅履歴の蓄積 (様式3-2a①) と メンテナンス基準の整備 (様式3-2a②) については、必須事項ではなく任意に積極的な取組みにつとめる。

【共通ルールの追加項目】

① (認定低炭素住宅)

・都市の低炭素化の促進に関する法律による申請基準を満たす住宅としており、一次エネルギー消費量の削減については10%以上とする。

・設備機器については、節水型トイレ・節湯水栓の設置を必須とする。

・外皮性能の仕様を標準化するため開口部の熱還流率 $3.49W/(m^2 \cdot K)$ 以下とし、断熱材 天井の熱抵抗値 $4.0(m^2 \cdot K/W)$ 以上、壁の熱抵抗値 $2.2(m^2 \cdot K/W)$ 以上、床の熱抵抗値 $2.2(m^2 \cdot K/W)$ 以上とする。ただし、外皮計算により壁の断熱と開口部の外皮性能基準(等級4)を満たした場合には上記の仕様の数値を満たさなくてもよいものとする。

・低炭素住宅の認定対象地域外のグループ工務店中心に説明会等での周知により、利用促進をおこないます。

・施主のメリットとして、ローン減税や地域材PR(兵庫県産材利用での住宅ローンの金利優遇、京都府産材の緑の補助金等)も積極的に案内する。

② (性能向上計画認定住宅)

・建築物省エネ法による申請基準を満たす住宅としており、一次エネルギー消費量の削減率は10%以上とする。

・設備機器については、省エネ性の高い機器の設置を推奨しております。

・平成28年度にできた新しい制度のためグループとして勉強会等を実施し今後の利用促進をおこないます。

・低炭素住宅の認定対象地域外のグループ工務店中心に説明会等での周知により、今後に向け利用促進をおこないます。

・施主のメリットとして、建築対象地域の拡大、地域材利用優遇制度も積極的に案内する。

・(兵庫県における住宅ローンの金利優遇、京都府産材の補助金)

・BELS認定を推奨しており、省エネ建築物の見える化10%削減以上の性能であることをアピールにつとめる。

③ (ゼロエネルギー住宅)

・2020年のゼロエネルギー住宅の標準化にむけた国の取組みに遅れないために、グループとして積極的な取組みを行う。

・省エネ地域区分は、5~6地域を対象とし、一次エネルギー消費量の算定方法は平成28年度省エネ基準でのBELS認証とする。

・ZEHの外皮性能の強化基準である0.6を満たすものとするが、工務店の希望によりランクアップ型の外皮性能にも取り組むものとする。

・一次エネルギーの削減率として、住宅全体(R値)としては100%を超えるものとし、太陽光発電を除く削減率(R0値)を20%以上とする。

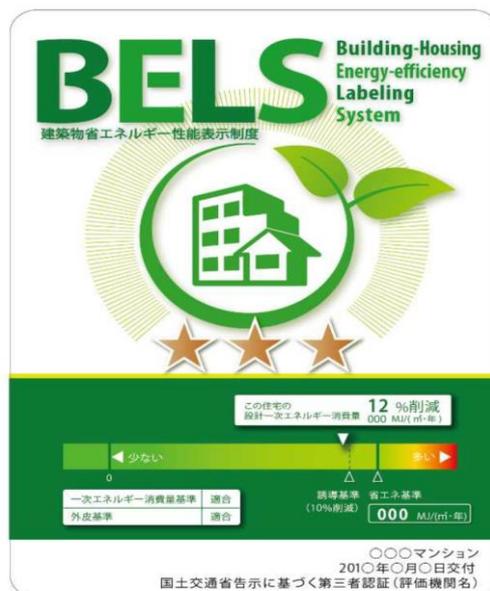
④ (優良建築物)

・低炭素建築物については、BELSの取得基準を標準とするものとします。

・BELS取得については、BEIの値1.0以下(省エネ基準相当)によるものとします。

なお、BEIの値が0.8以下(★★★以上)を推奨しておりますが、BEIの値が0.8を超え1.0以下(★★)の場合は、任意の2項目を取得することとします。また、地域材の活用をすすめるため任意項目の中では内外装木質化を推奨するものと致します。

省エネ見える化に合わせて、建築物のどこかにBELS表示を行うものとします。



住宅の表示例

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。